

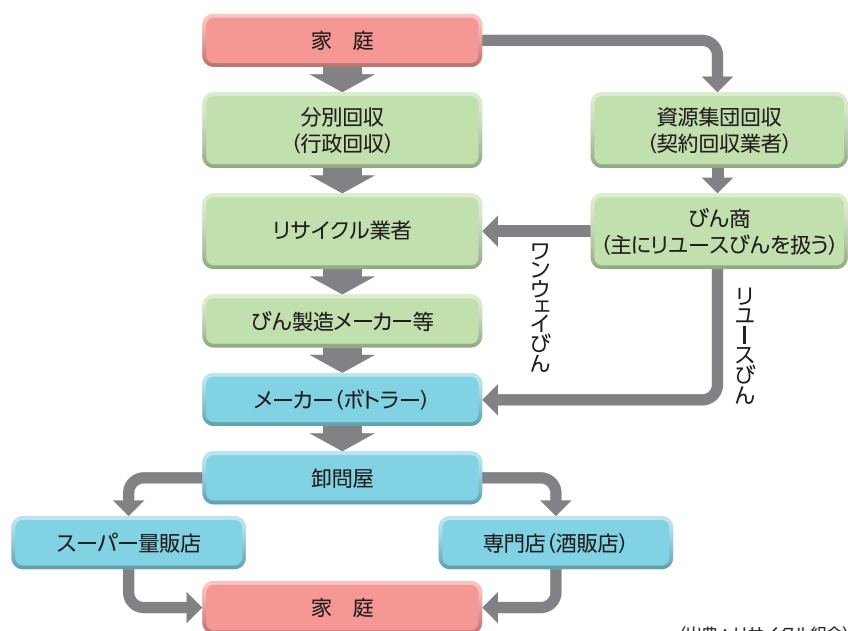
びんを再利用する2つの方法を知っていますか？

皆さんが普段手にするびんには2種類あります。ひとつは、粉々に砕いて原料に戻し、もう一度びんを作る「ワンウェイびん」。もうひとつが、洗浄して中身を詰め替えて再使用する「リユースびん(リターナブルびん)」です。

リユースびんは、何度も再使用することを前提に作られており、代表的なものに一升びんやビールびん、牛乳びんなどがあります。びんをそのまま再使用するので、破碎して原材料に比べてからびんを作り直すワンウェイびんよりもエネルギーコストやCO₂排出量などの環境負荷が少なくてすみます。

ほとんどの皆さんは、「缶・びん・ペットボトル」の分別回収にびんを出していると思います。しかし、分別回収はすべてのびんを破碎してしまいます。一方、資源集団回収で回収したびん類は、破碎せずに右図のように専門業者がリユースびんとワンウェイびんを選別します。びんが割れないように回収するのは手間がかかるため、資源集団回収ではびんを扱っていない場合が多いのですが、興味があるようでしたら回収業者に相談してみてください。

■ 家庭から出るびんのリユース・リサイクルの流れ



びん商の倉庫に積み上げられたリユースびん(左)とびんの選別作業の様子。



資源集団回収に出されたびん類。焼酎やワイン、栄養ドリンクなど、いろいろなびんが出されている。

環境にやさしく、地域の活性化につながる リユースびんを見直し、みんなで活用しよう！

洗浄して何度も使える「リユースびん(リターナブルびん)」の利用は年々減少しています。しかし、リユースびんはペットボトルよりも環境負荷が少なく、びん特有の高級感もあります。リユース推進の販売網「Loop」を通じてリユースびん入りのポカリスエットが販売されるなど、リユースびんを見直す企業も出ています。今回は、リサイクル組合が取り組む「横浜リユースびんプロジェクト」をご紹介します。

「横浜リユースびんプロジェクト」を知っていますか？

びんは、碎いて溶かし、もう一度びんを作り直すよりも、洗って再使用するほうが環境への負荷を低減することができます。リサイクル組合では、地産地消の飲料をリユースびんで提供することで、CO₂削減と地域経済の活性化を目指す「横浜リユースびんプロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトでは、ガラスびんを通じて、環境に配慮した消費行動ができる町を目指しています。

■ リユースびんのCO₂排出量

1,000本のびんを20回使用した場合

ワンウェイびんの
CO₂ 排出量を
100%
とすると…



リユースびんの
CO₂ 排出量は
23%

リユースびんを使うと
CO₂が約1/4に
削減できます。

「環境絵日記」から生まれた地域循環型リユースびん

「横浜リユースびんプロジェクト」誕生のきっかけは2014年の「環境絵日記」の1作品でした。「地域にやさしいRびん」という絵日記で、家にあったリユースびんの牛乳が環境にやさしいことに気づく作品です。この作品に触発されてプロジェクトが企画され、これまでにさまざまな取り組みが進められてきました。

■ プロジェクトの沿革

● 2014年

環境絵日記に「地球にやさしいRびん」が応募される。

● 2017年

「横浜リユースびんプロジェクト」を企画し、330mlのリユースびんを製造。イベント「リユースしてるってよ」を開催。西区の商店街のスーパーで試験販売。

● 2018年

プロジェクト紹介動画制作。市民バスツアー「地産地消産地を巡るバスツアー」2回開催。第19回グリーン購入大賞の行政・民間団体部門の大賞を受賞。

● 2019年

市民が対象のSDGsシンポジウム開催。環境絵日記展にブース出店。緑区の山下みどり台小学校で特別出前授業をスタート。

● 2021年

里山ガーデンフェスタにブース出店。商品販促ポスターやリユースびん啓発ポスター、CM動画などの制作。

● 2022年

プロジェクトのロゴマークを商標登録。緑区役所、地元スーパー銭湯などに商品を展示。



プロジェクトのキックオフイベント「リユースしてるってよ」



100人近い来場者が集まったシンポジウム



地産地消産地を巡るバスツアー

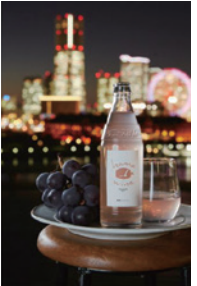


里山ガーデンフェスタの出店ブース

地産地消にこだわった商品ラインナップ

リサイクル組合が取り組む「横浜リユースびんプロジェクト」では、CO2の低減だけでなく、地産地消、地域経済の活性化にもこだわってきました。そのため、神奈川県内で生産された農産物を使って商品化を行い、それを地元で消費し、びんを再利用するという循環配慮型消費の仕組みづくりを進め、現在も普及に努めています。2017年に販売を開始してから現在までに8種類の商品を開発、販売してきました。

■ これまで発売した商品

2017年			2019年
			
あおみかんのしずく	みかんのしずく	ハマワイン	浜なしのひみつ
2020年	2021年	2022年	
			
浜なしのひみつ	みかんのしずく	浜なしと秘密のレモン	まじめにしぼってみました トマトです

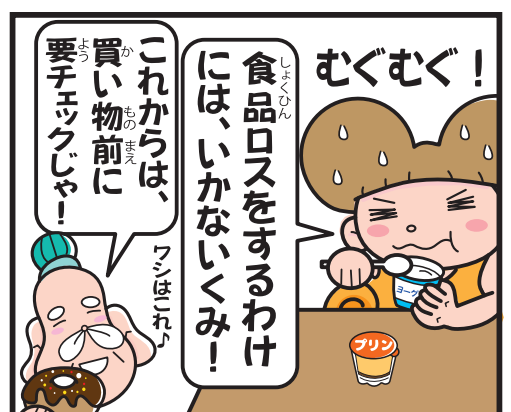
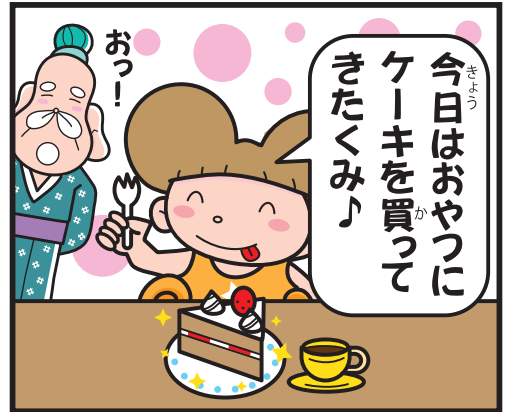
■ 取り扱い店舗

横浜駅周	●まぐろ問屋 三浦三崎港 横浜ポルタ店
桜木町・関内駅周辺	●TSUBAKI食堂 ●マミーズタミー ●愛嬌酒場えにし ●燦星庵 ●雨やどり ●串揚げとワインはち2nd ●まぐろ問屋 三浦三崎港 横浜ワールドポーターズ店
その他のエリア	●ど根性キッチン ●テクノタワーホテル ●たぐち屋 ●AIDKITCHEN（惣菜に使用） ●野毛はち義賊

「第19回グリーン購入大賞」で大賞を受賞



グリーン購入大賞は、環境配慮製品の市場拡大やSDGsに寄与する取り組みを表彰するものです。「横浜リユースびんプロジェクト」は、びんのリユースだけでなく、地産地消の仕組みづくりも高く評価されました。皆さんも日頃から意識して、ぜひ、リユースびんを利用してください。



「SDGs未来都市・環境絵日記展2022」を開催

11月27日(日)、横浜市役所の1階アトリウムにおいて「SDGs未来都市・環境絵日記展2022」の表彰式が行われました。今回は小規模ながらもブースエリアが復活し、企業、行政の皆様がそれぞれ環境、未来のための情報発信やワークショップを開催しました。

今年度の市内小学生からの応募は5,184作品あり、それらの中から環境絵日記大賞を受賞したのが、横浜市立峯小学校4年 櫻井茜里さんの「わたしがつけた魔法の箱」です。この絵日記は、夏休みの自由研究として実際にコンポストを使用してみた体験談が綴られています。最初は本当に生ごみが土に還るか不安でしたが、1～2週間で生ごみが目に見えて減っていくことが楽しみになり、「捨てられていたものを新しい野菜を育てるための栄養に変えることのできる、魔法の箱のようだと思います」と、コンポスト体験で感じた感動と魅力がよく伝わる作品です。表彰式では、優秀特別賞全

28作品を発表し、表彰しました。

その他にRD賞を受賞した157作品、高知県独自で開催した環境絵日記から優秀特別賞を受賞した15作品、サンディエゴから届いた絵日記6作品を11月22日(火)から表彰式終了まで展示し、多くの方にご覧いただきました。応募された絵日記はリサイクル組合HPのWeb展示場からもご覧いた

だくことができます。

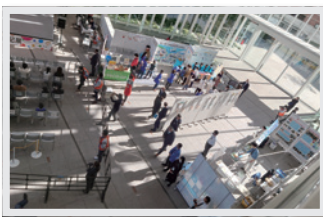
ご来場いただいた皆様、ご協力いただきました関係各所の皆様、誠にありがとうございました。



表彰式



2022年度環境絵日記大賞作品



展示会場

協賛企業 (順不同・敬称略)

主催

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

共催

●横浜市

協賛

【企業賞】 ●特定非営利活動法人 横浜市集団回収推進部 ●(株)アブソルート ●(株)安藤建設 ●(株)横浜スタジアム ●(株)エックス都市研究所 ●(株)ハイマックス ●(株)栄港建設 ●太陽油脂(株) ●生活協同組合ユーコープかながわ県本部 ●日産自動車(株) ●(株)小保組 ●コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) ●(株)ダイイチ ●(株) a・とも総合保険サービス ●横浜グリーン購入ネットワーク ●日本マクドナルド(株) ●(株) GRACE ●大西金属(株)

【ブース出展】 ●太陽油脂(株) ●生活協同組合ユーコープかながわ県本部 ●生活協同組合ユーコープ(おうち CO-OP)

【作品集サポーター】 ●(株)オフィス・アルファ ●(株)富士紙業 ●(有)工藤紙業 ●横浜アルコ(株) ●(有)マルニ商店

【一般サポーター】 ●協同組合厚木市資源再生センター ●神奈川三菱ふそう自動車販売(株) ●ガラスびん3R促進協議会 ●(株)オカムラ ●大和市リサイクル事業協同組合 ●影近総合税理士法人 ●神奈川県金属原料商工業協同組合 ●青木石油商事(株) ●(株)三木組 ●南関東日野自動車(株) ●キンセイ食品(株) ●タテバ(株) ●新明和工業(株)特装車事業部 ●神奈川営業所 ●藤沢市資源循環協同組合 ●(株)エフオージー ●ゾーホージャパン(株) ●高梨乳業(株) ●(株)東京エンジニアリング ●ウォンツ(株) ●横浜資源化協議会 ●神奈川県硝子原料商業組合 ●神奈川県リサイクル産業団体連合会 ●(株)金澤紙業 ●東洋ガラス(株) ●あいおいニッセイ同和損害保険(株)横浜支店 ●(株)大塚商会 ●(株)日哲商事 ●(株)置田商店 ●影島興産(株) ●遠藤商店 ●(株)関東古紙商事

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

